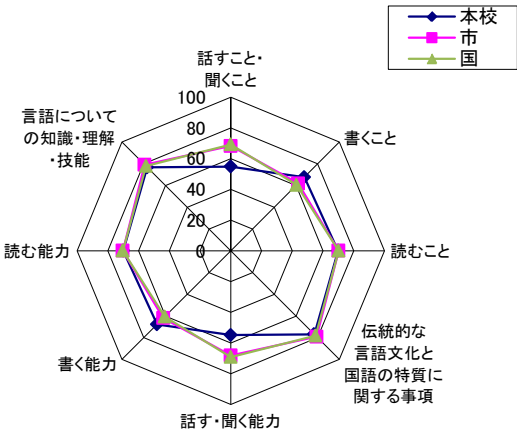


宇都宮市立海道小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

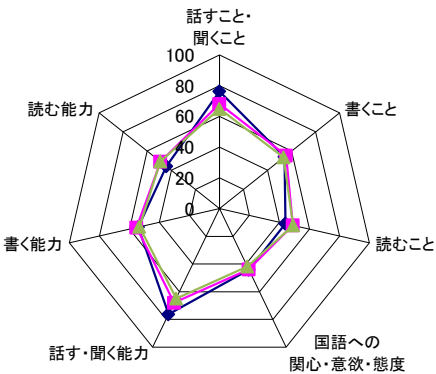
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	54.8	68.2	69.2
	書くこと	67.7	62.0	60.6
	読むこと	69.9	70.2	70.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.8	79.1	78.0
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	54.8	68.2	69.2
	書く能力	67.7	62.0	60.6
	読む能力	69.9	70.2	70.2
	言語についての知識・理解・技能	76.8	79.1	78.0



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	76.3	68.0	64.9
	書くこと	54.2	55.3	53.4
	読むこと	44.1	49.0	49.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
観点	国語への関心・意欲・態度	44.1	43.9	41.7
	話す・聞く能力	76.3	68.0	64.9
	書く能力	54.2	55.3	53.4
	読む能力	44.1	49.0	49.2
	言語についての知識・理解・技能			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	平均正答率は、国語Aが全国平均より14.4ポイント下回り、国語Bが全国平均より11.4ポイント上回る。 ○スピーチメモのよさを捉えること及び話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話すことができる。学校全体で話し合い学習を推進してきた成果であると考えられる。	・今後も各教科の授業で話し合い学習を行っていく。その際、「海道小スタンダード」を活用して話し方・聞き方などの学習規律を定着させるとともに、授業の中で聞き取りテストを行うなどして、話し手の考えを聞き取る力を高めるようにする。
書くこと	平均正答率は、国語Aが全国平均より7.1ポイント上回り、国語Bは全国平均とほぼ同じである。 ○スピーチメモを使うことのよさについてどのように考えているのかを書くこと及びスピーチメモとグループの話し合いで出された意見を基に書くことができる。	・今後も自分の考えを書く指導を継続して行っていく。 ・調査結果や普段の様子から児童の状況を把握し、一人一人に応じた指導を行っていく。
読むこと	平均正答率は、国語Aが全国平均とほぼ同じであり、国語Bが全国平均より5.1ポイント下回る。 ●物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にすることに課題が見られる。	・国語の授業において、物語や説明文に書かれている文や言葉を手がかりにして内容を読み取らせていく。その際、話し合い学習を通して、読み取りの根拠やポイントを共有させ、内容を的確に押さえることができるようにする。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	平均正答率は、全国平均とほぼ同じである。 ○漢字を正しく書くことができる。定期的に行った漢字テストや日記で指導した成果と考えられる。 ●ことわざの使い方の理解に課題が見られる。	・今後も漢字テストや日記で、漢字の読み書きの指導を個々に丁寧に行っていく。 ・日常生活の中で意図的にことわざを取り上げたり、宿題にことわざのプリントを出したりすることで、使い方を理解させていく。